単元名

第２学年　New Horizon

Unit 5『What design is good for everyone?』

内容のまとまり

①話すこと［やり取り］（イ）

②聞くこと（ア）

１　第２学年の目標

・日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験などに基づいた考えや気持ちとその理由、具体例や事実など、まとまった内容を整理して伝えた上で、伝えた内容に対する質問に応答しながら、対話を継続・発展させて伝え合うことができる。（話すこと［やり取り］）

・日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話されているスピーチなどの内容に一貫性のある英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。（聞くこと）

２　単元の目標

・みんながもっと生活しやすい学校にするために必要なものを提案する活動を通して、ユニバーサルデザインの良さを伝えるとともに、仲間の考えに意見を述べたり、質問したりすることができる。（話すこと［やり取り］）

・会場で流れるアナウンスを聞いて、自分が行きたいイベントを選ぶために必要な情報を聞き取ることができる。（聞くこと）

３　Stage Activity のねらいと単元の評価規準と課題

Stage Activity 2のねらい		
自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら、構成を工夫して説明することができる。		
各単元のねらい		
Unit 4	Unit 5【本単元】	Unit 6
世界には様々な習慣やマナーの違いがあることに気付き、日本の習慣やマナーを伝えるために、しなければならないことやしてはいけないことを場面を明確にして伝えることができる。	身の回りのユニバーサルデザインは、すべての人のために様々な工夫がされていることに気付き、学校に取り入れると良いものを提案するために、そのものの良さや自分の考えを整理して伝えることができる。	データを基にプレゼンテーションをすると説得力が高まることに気付き、自分が興味がある事柄について根拠をもってプレゼンテーションするために、アンケート結果を比較し、自分の考えを整理して伝えることができる。
本単元の評価規準		
知識・技能	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
［知識］〈疑問詞＋to〉を用いた文や〈主語＋be 動詞＋形容詞＋that〉の文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］〈疑問詞＋to〉を用いた文や〈主語＋be 動詞＋形容詞＋that〉の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかやうれしいことなどについて、伝え合う技能を身につけている。	日枝中をみんなにとってもっと生活しやすい学校にするために必要だと思うものを提案するために、ユニバーサルデザインの良さや自分の考えを整理して、簡単な語句や文を用いて伝えたり、仲間の考えに意見を述べたりしている。	日枝中をみんなにとってもっと生活しやすい学校にするために必要だと思うものを提案するために、ユニバーサルデザインの良さや自分の考えを整理して、簡単な語句や文を用いて伝えようとしたり、仲間の考えに意見を述べようとしたりしている。
単元を貫く課題 日枝中をもっと生活しやすい学校にするために必要なものを提案しよう。		

４　本単元と関わりのある単元

・中１　Unit 8　Think Globally, Act Locally　「身の回りの問題を解決しよう」

・中３　Unit 3　How can we save animals?　「問題に対する解決策」

・中３　Unit 4　How can we help each other in a disaster?　「防災への取組」

５　本単元を支える既習表現　（　）内は本単元で位置付ける単位時間

中２　・Unit 1　What can we experience on a trip?　「I will **show (tell) you ….**」（第４, 5 時）

・Unit 2　What is local food?　「**When** I go to a ramen restaurant, I order *tonkotsu* ramen.」（第 7 時）

「**If** you have time, you can come.」（第６, 7 時）

「I like Sapporo ramen **because** the soup is thick.」（第１時）

「I think **that** food travels around the world.」（第１, ８, 9 時）

・Unit 3　What kind job are you interested in?　「**It is** important **to look** at the children's faces.」（第１時）

６　展開案を含む指導と評価の計画

時間	ねらい（■）　主な言語活動（丸数字）	生徒が目指す姿と評価基準	知	思	態
1（学習を見通す時間）	**単元オリエンテーション** ■ALT の話を聞いて、身の回りには多くのユニバーサルデザインがあることを知ったり、身の回りのユニバーサルデザインについて伝え合ったりして、単元を貫く課題を理解し、学習の見通しをもつことができる。 Small Talk: What universal design do you know? ①ALT を含む複数の人の意見を聞き、困っていることや願いを理解する ②単元を貫く課題を確認する ③自分だったら、日枝中に何を取り入れるかを理由と共に考え、ペアで伝え合う ④単元の見通しをもつ	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・単元のゴールを理解し、これまでの学びを生かして見通しをもったり、目標を立てたりする。 ・③既習表現を使って伝え合う。 ・I think that an escalator is good **because it is** easy **to** go up stairs. ・I think **that** pictograms are good **because** everyone can understand them. **評価規準** 単元末の活動を理解し、単元を通して学びたいことを記入しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）			SP
2	**Part 1** ■イベントのお知らせを読んで、必要な情報を捉え、友達をイベントに誘うことができる。 Small Talk: What is this? (remote control with big buttons) ①Today's Goal How can you invite your friends to the event? ②本文を読み、内容を伝え合う ③伝える順番や必要な情報を選び、イベントの内容を再度伝える ④本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・③イベントでできることだけでなく、日時や場所など誘う時に必要な情報にも注意しながら伝える。 At this event, you can see and learn how to use many universal design products. It's at Midori City Hall on October 10th. **評価規準　【読むこと】** イベントのお知らせから、何ができるかや日時や場所等の必要な情報を読み取ることができる。	R		
3	**Part 1** ■知っているユニバーサルデザインを伝え合う活動を通して、〈疑問詞＋to＋動詞の原形〉を使うとそのユニバーサルデザインの何を知っているのかを伝えることができることに気付き、どこにあるのかやいつ使うのかを加えて伝えることができる。 Small Talk: What is this? (knife with a universal design) ①Today's Goal What universal design do you know? ②Key Sentence を確認し、〈疑問詞＋to＋動詞の原形〉の用法を理解する ③Practice に取り組む ④〈疑問詞＋to＋動詞の原形〉を使ってユニバーサルデザインの何を知っているかを伝える ⑤Improving Time どこで見つけることができるのか伝える１文を加える ⑥話した内容をワークシートに書きまとめる ⑦本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・③疑問詞を確認し、様々なユニバーサルデザインの何を知っているかを伝え合う。 ・I know **how to use** *kadokeshi*. ・I know **where to find** an automatic door. ・④どこで見つけることができるのか、本文中の表現 (At…、 There are ….)を使って伝える。 ・**At Takayama station,** we can find an escalator. ・**There is** an automatic door in Hie J.H.S. **評価規準【話すこと（発表）】** 身の回りのユニバーサルデザインについて、〈疑問詞＋to＋動詞の原形〉を使って何を知っているのかを伝えたり、具体的にどこにあるのかを伝えることができる。		SP ○	

4	**Part 2** ■アナとスタッフの対話文を聞き、 “Thanks to ~”や“you can ~ easily.” や“ like~”で特徴を伝えていることに気付き、ユニバーサルデザインのはさみの特徴を聞きとることができる。 Small Talk: What is this? (rular with big numbers) ①Today’s Goal What does the staff member explain to Anna? ②聞き取った内容をペアで伝え合う ③はさみの特徴を説明するうえで必要な情報を確認する ④書かれている内容を確認し、本文を音読する ⑤はさみの特徴を自分の言葉で説明する ⑥本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・②聞き取った内容を、既習表現を駆使しながら何とか伝えようとする。 ・③形・特に誰にとって役に立つのかに着目して聞き取る。 ・⑤既習表現を駆使しながら、はさみのことを全く知らない ALT にその特徴を伝えようとする。 I know how to use this product. These are scissors. It is easy to cut the paper because the scissors have special shape. Both left- and right- handed people can use them. **評価規準　【聞くこと】** ユニバーサルデザインのはさみの形や誰にとって使いやすいのかの情報を聞き取ることができる。	L		
5（本時）	**Part 2** ■ユニバーサルデザインの製品について伝え合う活動を通して、「誰にとってどんな風に役に立つのか」を伝えることがユニバーサルデザインの特徴を伝える上で必要であることに気付き、Thanks to ～.や easily などの副詞を使ってその理由を加えながらユニバーサルデザインの製品について伝えることができる。 Small Talk: What is this? (glass with a special shape) ①Today’s Goal Let’s introduce how to use universl design products. ②Key Sentence を確認する ③１つ製品を選び、特徴を説明し、「誰にとってどんな風に役に立つのか」伝える必要があると確認する ④Improving Time Thanks to~を使うと、使いやすい理由を伝えられることに気付く ⑤話した内容をワークシートに書きまとめる ⑥本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・③教科書本文でどのように説明されていたのか思い出しながら、様々な人の伝え方や副詞を確認し、伝え合う。 I can show you how to use this product. This is a cutter. **Children** can cut the paper **easily**. ・④教科書をもう一度振り返り、「Thanks to」を使うと、使いやすい理由を伝えられると気付き、使いながら伝える。 I can show you how to use this product. This is a cutter. **Thanks to** the shape, children can cut the paper easily. **評価規準【話すこと（発表）】** Thanks to~.や easily などの副詞を使って、ユニバーサルデザインの製品の特徴を説明している。	SP ○		
6	**Read and Think 1** ■アナのユニバーサルデザインについての紹介文を読み、ユニバーサルデザインはすべての人のためのものであることに気付き、どんな場面で役に立つのかアナの考えを読み取ることができる。 Small Talk: What is this? (ramp) ①Today’s Goal What does Anna introduce? ②ユニバーサルデザインの意味を確認し、アナが紹介しているものについて読み取って伝え合う ③アナの考えを読み取る ④イラストを見せながら、本文の内容を自分の言葉で伝える ⑤本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・④Small Talk で繰り返してきた表現を思い出しながら、本文の内容を自分の言葉で伝える。 Universal design is useful for everyone. I will show you two examples. First, this is sign. Thanks to pictures, English, and easy Japanese, young children can understand easily. Second, this is ramp. It is useful when you have many baggages. Elderly people and people with small children can use it. **評価規準　【読むこと】** 多言語看板とスロープがどんな場面やどんな人に役に立つのかを理解し、アナの考えを読み取ることができる。	R		

7	**Read and Think 1** ■ユニバーサルデザインについて自分の考えを伝え合う活動を通して、どんな場面やどんな人に役に立つのか伝えると説得力をもたせられることに気付き、自分の考えを理由と共に伝えることができる。 Small Talk: What is this? (pictogram) ①Today's Goal What do you think about facilities with a universal design around us? ②Key Sentence を確認する ③Practice に取り組む ④身の回りのユニバーサルデザインを１つ選び、それについての考えを伝え合う ⑤Improving Time 場面や対象を伝えると説得力が高まることに気付く ⑥場面や対象を加えて、考えを再度伝え合う ⑦話した内容をワークシートに書きまとめる ⑧本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・④Key Sentence を使って考えや経験を話す。 ・**I am sure that** pictograms help foreign people. ・**I was glad that** I found a ramp. ・⑤具体的な場面を伝える時に、本文中の「If」 や既習表現の「When」を使えることや、どんな人にとって特に役に立つのか第５時を思い出し、伝える。 ・Thanks to pictograms, **foreign people** can understand signs easily. ・**If** you have many baggabes, automatic doors will help you. **評価規準　【書くこと】** 身の回りのユニバーサルデザインがどんな場面でどんな人に役に立つのか説明し、それに対する自分の考えを書くことができる。		W ○	
8	**Read and Think 2** ■ユニバーサルデザインの誕生について読む活動を通して、ロナルド・メイスは周りの人々とは違った考え方をもっていたことに気付き、ロナルド・メイスの考え方をまとめることができる。 Small Talk: What is this? (automatic door) ①Today's Goal How was universal design created? ②本文を読み、ロナルド・メイスについての情報を集める ③仲間と追加の情報を読み取ったり、発音の確認をしたりする ④本文の内容を自分の言葉で伝える ⑤本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・④ロナルド・メイスは他の人々とは違った考えをもっていたことに着目し、彼の考えを自分の言葉で伝える。 Ronald Mace is the father of universal design. He was in a wheelchair. He wanted to make disigns for all people. So he found the Center for Universal Design and spread his idea around the world. **評価規準【読むこと】** どのようにユニバーサルデザインが誕生したのか、ロナルド・メイスの考え方を読み取ることができる。	R		
9	**Read and Think 2** ■ユニバーサルデザインがなぜ大切なのか自分の考えを伝え合う活動を通して、自分の考えを伝え、仲間に対して意見を述べることができる。 Small Talk: What is this? (double handrails) ①Today's Goal Why is universal design important? ②課題に対してどう思うかペアで伝え合う ③Improving Time 相手の意見に対して同意したり、違う意見を伝えたりする方法を確認する ⑤小グループで自分の考えと仲間に対する意見を伝える ⑥本時の学びを Unit Sheet に記入する	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・②なぜユニバーサルデザインが大切なのかと具体例を出して伝える。 I think universal design is important **because** it helps many people. **For example**, thanks to double handrails children and tall people can go up stairs easily. ・③やりとりを促すために、同意したり違う意見を伝える表現をインプットする。 A: Universal design is important because it helps many people. For example, doble handrails can help children and tall people. B: **I think so, too.** I am sure that universal design helps everyone. C: **I agree.** Handrail is useful for many people. **評価規準【話すこと（やり取り）】** なぜユニバーサルデザインが大切なのか自分の考えを伝え、仲間の考えに意見を述べることができる。		SI ○	

10	**Unit Activity** ■日枝中をみんなにとってもっと生活しやすい学校にするために必要だと思うものを提案するために、ユニバーサルデザインの特徴や使われる具体的な場面を伝えたり、仲間の意見に対して自分の考えを述べたりすることができる。 ①Today's Goal 日枝中に取り入れたいユニバーサルデザインを伝え合おう。 ②取り入れたいユニバーサルデザインについてマッピングを広げる ③②について、英語で伝え合う ④グループで役割を決め、意見を伝え合う ⑤自分の考えを書きまとめる	**【生徒が目指す具体的な姿】** ・④小グループ内で司会者を決め、お互いに提案し、仲間の意見に自分の考えを述べる。 S1: Look at this.（写真を指し示しながら） I think our school should introduce adjustable desks. Thanks to adjusting the hight of the desk, both short and tall people can use it easily. If you grow up, you can adjust the hight easily. S2: I think people in wheelchair can use it easily. S1: I agree. I am sure that adjustable desk help many students. S2: I think so, too. I am sure that many students use them when they study. **評価規準　【話すこと（やり取り）】** 日枝中に取り入れたいユニバーサルデザインについて、特徴や使われる場面を加えて自分の考えを伝えたり、仲間の意見に対して自分の考えを伝えたりすることができる。			SI ○
後日	パフォーマンステスト				

※評価の観点の○は「記録に残す評価」として扱う。

7　単元末活動における採点基準

条件１：ユニバーサルデザインの良さ（何が、特に誰にとってどんな風に役に立つのか）を伝えている。
条件２：相手の話に対して、ユニバーサルデザインの良さについて尋ねたり、自分の考えを伝えたりしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	誤りのない正しい英文で話している。	・２つの条件を満たして話している。 ・具体的な場面や状況を加えて話している。	・２つの条件を満たして話そうとしている。 ・具体的な場面や状況を加えて話そうとしている。
B	誤りが一部あるが、意味を理解するのに支障のない程度の英文を話している。	２つの条件を満たして話している。	２つの条件を満たして話そうとしている。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

8　生徒の発話例　すべての観点で評価「b」の生徒

S1: Look at this.（写真を指し示しながら） I think our school should introduce adjustable desks. 【条件１】Thanks to adjusting the hight of the desk, both short and tall people can use it easily. If you grow up, you can adjust the hight easily.
S2: I see. 【条件１】I think people in wheelchair can use it easily.
S1: I agree. 【条件２】I am sure that adjustable desk help many students.
S2: I think so, too. 【条件２】I am sure that many students use them when they study.

※ □ のような記述がある場合、具体的な場面や状況を加えて話しているとして、思考・判断・表現の評価を「A」とする。